

## 【自己評価】事業者向け 放課後等デイサービス評価

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	○			法令で必要とされる配置数に加え、指導員または保育士を1名以上配置しています。
	3	職員の身だしなみ、言葉遣い、対応は適切か	○			
	4	教室内(机、家具等)の安全対策はできているか		○		昨年度の自主点検を受け、面談室のドアの挟み込み防止として、クローザーを設置しました。机のコーナーガードを設置していますが、剥がれ落ちが見られる点を認識しています。
	5	教室内は清潔に保たれているか	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			主に常勤職員が参加する会議を日次で実施しています。
	7	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者アンケートを実施して、業務改善に努めています。
	8	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者アンケートの結果を書面で配付するとともに、事業所の自己評価結果と併せてHPに公開しています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	利用者及び事業所の評価を行っています。外部評価の実施については、必要に応じて検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修会のフィードバックや勉強会を月次で実施するよう努めています。
適切な支援の提	11	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントツールを活用したアセスメント能力の向上に努めていきたいです。モニタリング等を踏まえ、適宜支援計画の見直しを実施しています。
	12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		言語・生活・社交性の領域に関する独自のアセスメントツールを導入・活用しています。今後は、アセスメントツールを活用したアセスメント能力の向上に努めていきたいです。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			週間で設定されたテーマに基づき、児童の特性等を考慮した内容を検討しています。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			週間でトレーニングのテーマを設定しています。
	15	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	平日(放課後)と長期休暇で異なるプログラムを実施していますが、日々の業務に追われ、課題設定の検討に十分な時間を確保できないことがある点を課題と認識しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員会議のなかで、トレーニング内容及び児童の特性に配慮したサポートすべき事項を確認しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	20	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	21	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			「創作活動」、ボランティア受け入れを通じた「地域交流」、その他余暇活動を実施しています。
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか				相談支援事業所を利用している児童の在籍はありません。
	23	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		基本的に児童の送迎を行っていません。学校行事の代休や下校時間変更等による利用時間が異なる場合には、保護者と確認しています。
	24	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当する児童の在籍はありません。
	25	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	
	26	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				該当する児童の在籍はありません。
	27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	地域療育センターと連携できる関係性は有しておりますが、実効的な連携が取れる機会は限られています。
	28	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	保護者ニーズに踏まえて、必要に応じて検討してまいります。
	29	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			障がい児童の支援等を目的とした、戸塚区自立支援協議会(児童分科会)に参加・出席しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の送迎時に口頭説明に加え、月次で「振り返り」を発行しています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		保護者より相談があった際には、支援内容を伝えるよう努めています。
	保	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
33		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
34		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		支援団体と連携し、講演会等の情報を保護者に提供しています。保護者同士の連携支援は現状行っていません。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明等	35	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			保護者向けに月次で「ハッピーテラス通信」を作成し、報告しています。
	37	個人情報に十分注意しているか	○			
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			障害特性に鑑み、必要に応じ視覚的アプローチを実施しています。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域ボランティアの受け入れを行い、地域住民との交流を持てるようにしています。
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		先般実施した保護者アンケートの結果にて、マニュアルの策定状況をお知らせしています。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		基本的に身体拘束を想定していません。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		食物アレルギー等の情報を保護者より聴取し、摂取しないよう留意しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			